

2010年12月8日

木材業景況調査結果

第315回（平成22年11月分）

(社)全国木材組合連合会

全国木材協同組合連合会

迅速！簡潔！明快！
全国モニターで調査する
唯一の全国版景況調査
この調査は日本木青連のご協力を得て、
行っています

11月は、流通・製造部門とも販売量、仕入量は増加した。販売量は3ヶ月連続で増加を示し堅調である。また、販売価格については、流通・製造部門とも変わらなかった。仕入価格については、流通部門では変わらず、製造部門では上昇した。

12月は、販売量については、流通部門では減少の見通しであるが、製造部門では前月と変わらずの見通しである。仕入量についても、流通部門では減少、製造部門では変わらずの見通しである。季節性を含んだ予想と見られる。販売価格、仕入価格は流通・製造部門とも変わらずの見通しである。

3ヵ月後の相場予想については、流通・製造部門とも、南洋材、北洋材は保ち合い予想、国産材は強含み予想である。米材については、流通部門では保ち合い予想、製造部門では弱含み予想である。また、建材は保ち合い予想である。

流通部門における「乾燥材取引の頻度」については、全体の傾向と同様に「変わらず」の回答が主であるが、乾燥材の一定の取引は定着していると思われる。

プレカット工場の操業状況は回復しつつある。

平成22年11月分集計表

()内は実数

〔流通部門〕モニター数108 回答数59 回収率55%

当月の状況

販売量	増加40%(23)	変わらず46%(27)	減少14%(8)
仕入量	増加32%(19)	変わらず54%(32)	減少14%(8)
販売価格	上昇10%(6)	変わらず87%(51)	下降3%(2)
仕入価格	上昇22%(13)	変わらず76%(45)	下降2%(1)

来月の見通し

販売量	増加14%(8)	変わらず59%(35)	減少27%(16)
仕入量	増加14%(8)	変わらず61%(36)	減少25%(15)
販売価格	上昇10%(6)	変わらず83%(49)	下降7%(4)
仕入価格	上昇22%(13)	変わらず70%(41)	下降8%(5)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米 材	8%(4)	81%(43)	11%(6)
南洋材	14%(7)	82%(41)	4%(2)
北洋材	13%(7)	77%(40)	10%(5)
国産材	36%(20)	57%(32)	7%(4)
建 材	16%(8)	72%(36)	12%(6)

乾燥材取引の 頻度	増加	変わらず	減少
	18%(10)	80%(46)	2%(1)

〔製造部門〕モニター数116 回答数70 回収率60%

当月の状況

販売量	増加41%(28)	変わらず46%(32)	減少13%(9)
仕入量	増加39%(27)	変わらず52%(36)	減少9%(6)
販売価格	上昇17%(12)	変わらず80%(55)	下降3%(2)
仕入価格	上昇30%(21)	変わらず66%(45)	下降4%(3)

来月の見通し

販売量	増加22%(15)	変わらず48%(33)	減少30%(21)
仕入量	増加23%(16)	変わらず54%(37)	減少23%(16)
販売価格	上昇7%(5)	変わらず84%(58)	下降9%(6)
仕入価格	上昇15%(10)	変わらず78%(52)	下降7%(5)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米 材	10%(3)	64%(20)	26%(8)
南洋材	20%(5)	68%(17)	12%(13)
北洋材	8%(2)	72%(18)	20%(5)
国産材	33%(20)	57%(34)	10%(6)

プレカットの動向

受注後、加工までの 待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	69%(11)	18%(3)	13%(2)